

# 強者の戦略

こんにちは、世界史の北林です。今回はちょっと古いですが、よく考えてもらいたい問題を扱ってみたいと思います。

【名古屋大学 1995 年】

16 世紀から 18 世紀にかけてのいわゆる絶対主義の時代、ヨーロッパにおける諸国間の国際関係は王朝の利害を軸に展開し、均衡勢力の維持のため、しばしば戦争が引き起こされた。このヨーロッパでの国際関係のうち、16 世紀初頭から 18 世紀半ばまでのスペイン・フランス・オーストリアの 3 国をめぐる動向について、次の語句を参考にしながら、300 字以内で論述しなさい。

ハプスブルク家  
三十年戦争

ブルボン家  
ユトレヒト条約

カルロス 1 世  
外交革命

ルイ 14 世

「16世紀初頭から18世紀半ばまで」とあるので、まずは時期をよく考えましょう。16世紀はヨーロッパで主権国家体制が成立し始める時期ですね。18世紀半ば、と問われ、これは何を意図しているか分かるでしょうか。

「スペイン・フランス・オーストリアの3国をめぐる動向」と問われて、どう文章を考えたら良いでしょうか。かなり複雑になりそうですが、問題をよく読んで考えると案外シンプルにまとめることもできます。いろんな教材を見てもよいので、挑戦してみてください。

世界史 北林